

競技方法、ローカルルールと記録について(2014)

1. 競技方法とルール

1. 個人単位で行うタイムレース方式とします。
2. 各自のスタート時間は、封筒に記載されています。また、スタートリストは、大会ホームページに、3月中頃には掲載されます。(5分間隔の時差スタートとなります。各自のスタート時刻を確認下さい)
3. コース上は左側通行とし、道幅の狭い所では譲り合いの精神をもって走って下さい。特に、一般ハイカーには一声(挨拶)掛け合しましょう。
4. コースは一般道を走ります、車も通りますので充分注意して下さい。
5. 遅いランナーを追い抜く時は、必ず声をかけ、右側から追い抜き、遅い方は左側によけて道をあけてあげて下さい。
6. コース上の要所にはコース誘導員が立っていますが、コースの特徴や名称等については事前に予習して下さい。
7. レースの関門は、下記の通りです。(タイムオーバーした選手は、レースを中止し、スタッフの指示に従って下さい)
・真砂登山口(20km地点)：13時00分、潮見峠(26km地点)：14時30分、ゴール地点の制限時間は、16時00分。
8. ゼッケンは、体の前の部分(胸またはお腹付近)につけて下さい。(体の側面または後側は不可)
9. エイドステーション(AS)は次の通りです。①潮見峠、②真砂登山口、(水、スポーツドリンク、バナナ、みかん、飴、塩の予定。/地図参照) 給水所では紙コップの使用が廃止となりまして、マイカップをご用意ください。
10. 参加者は、各自の水と行動食は携行して下さい。(ASに準備された飲食物が足りない場合もあります)
11. ストックおよび登山用杖等の使用は禁止します。
12. 参加者は、体調の悪化等でレースをリタイアする場合は、必ずコース上のスタッフに申し出て下さい。
13. マナーに反する行為を目撃した場合は、スタッフに連絡下さい。

本大会のコースは、文化的価値の高い熊野古道と一般道を使用します。多くの関係者の許可と理解のもと、ご厚意によりコースを使わせて戴きます。この点をご理解いただき、今後も長く本大会が続けられますようご留意下さい。

※ ランナーはマナーをもってご参加下さい。

2. 失格事項

- (ア) トレイルの全区間においてハイカー(歩行者)優先とします。
- (イ) ゴミをレース開催中に放棄した選手。
- (ウ) コース上の関門にタイムオーバーした選手。
- (エ) 史跡や自然保護に違反行為する行為があった選手。
- (オ) イヤホンを聞きながら走行する選手。
- (カ) ゼッケンを着用しなかった選手。
- (キ) スタッフへの暴言、マナー違反があった選手。



▲SIカードとステーション

3. 備考

- (1) 65歳以上の参加者は、健康診断証の提出をお願いします。(写し可)
 - (2) 大会開催中(レース中も含む)のゴミは各自で持ちかえり下さい。
 - (3) 資源保護の観点から給水所では紙コップの使用が廃止となりましたので、各自のマイカップの使用をお願い致します。(別紙案内を参照)
 - (4) レース中の事故については、応急処置のみ行いますが、それ以外は各自の責任でお願いします。(各自、簡単なファーストエイド等を携行下さい) また万一のために保険に加入していますが、くれぐれも気をつけて下さい。
- (1人100円のスポーツ保険当日のみ、死亡100万円/入院2500円/通院1500円/180日以内の90日となります)

4. 記録(SIカード)について

1. 記録はSIカード(電子パンチングシステム)にて計測します。(SIカードを持って走ります)
2. SIカードは、あなたのゼッケン番号と同じ番号となりますので、確認して下さい。
3. 使用法は、ループを中指に掛け、手のひらに置く様にすればOKです。チェックポイントやゴール地点では、ユニットにパンチング(専用台にセット)するだけで記録されます。
4. レース中の計測は、潮見峠(Aタイプは2回)と、ゴール地点で行います。
5. 万一、SIカードを装着しなかったり、他人のISカードを使用した場合は、記録が計測出来ません。必ず、自分のSIカードを装着して下さい。
6. ゴール後(またはレース終了後)に、SIカードを回収しますので、必ず返却して下さい。紛失した場合は、弁償金(有料3000円)を戴きます。リタイアされた場合も同様に、速やかに返却願います。
7. スタート、関門、ゴール地点では必ず一時停止してスタッフの指示に従い通過下さい。